

令和 8 年 度 着 手

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

次 郎 丸 地 区 暗 渠 排 水 事 業

〔 経 営 体 育 成 基 盤 整 備 事 業 (土 地 総) 〕

福 井 県

目 次

第 1 章 目 的	1
第 2 章 地 域 及 び 地 積	1
第 1 節 地 域	1
第 2 節 地 積	1
第 3 章 現 況	1
第 1 節 気象及び海象	1
1 . 一般気象	1
2 . 特殊気象	2
3 . 海 象	2
第 2 節 土地状況	2
1 . 地形、土壌及び侵食の程度	2
2 . 土地分類	3
3 . 土地利用の状況	3
4 . 土地所有の状況	3
第 3 節 水利状況	4
1 . 用水状況	4
2 . 排水状況	7
3 . 河川状況	9
第 4 節 道路概況	10
1 . 道路概況	10
2 . 主要道路一覧表	11
第 5 節 地域農業の概況	11
1 . 産業別就業人口	11
2 . 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	11
3 . 動力農機具及び主要家畜頭数	11
4 . 主要作物作付状況	12
5 . 農業の動向	12
第 6 節 地域環境の概況	12
第 4 章 一般計画	13
第 1 節 事業計画の要旨	13
1 . 要 旨	13
2 . 事業別面積	13

第2節	営農計画及び土地利用計画	13
1.	営農計画の概要	13
2.	土地利用区分	13
3.	作付方式	14
4.	生産計画	14
5.	労働改善計画	15
6.	級地別土地利用区分	15
7.	土地配分計画	15
第3節	用水計画	16
1.	計画基準年	16
2.	計画かんがい方式	16
3.	計画用水系統	16
4.	計画用水量	17
5.	水源計画	18
第4節	排水計画	19
1.	計画基準雨量	19
2.	計画排水方式	19
3.	計画排水系統	19
4.	計画排水量	20
5.	排水対策	20
6.	たん水検討	20
第5節	道路計画	21
1.	道路及び索道	21
2.	路線配置図	21
第6節	農用地造成計画	22
1.	農用地造成計画	22
2.	土壌改良	22
第7節	洪水調節計画	22
1.	計画基準雨量	22
2.	計画洪水量及び調節量	22
3.	貯水池	22
4.	洪水調節検討	23
5.	管理計画	23
第8節	干拓計画	23
第9節	農用地整備計画	24
1.	区画整理	24
2.	暗渠排水	25
3.	客土	25
4.	農地保全	25

第10節 老朽ため池改修計画	26
1 . 洪水吐改修計画	26
2 . 堤体補強計画	26
3 . 取水施設改修計画	26
第 5 章 主要工事計画	27
第1節 用水施設	27
1 . 貯水池	27
2 . 頭首工	27
3 . 揚水機	27
4 . 用水路	27
5 . その他かんがい施設	27
第2節 排水施設	28
1 . 排水水門	28
2 . 排水機	28
3 . 排水路	28
4 . その他排水施設	28
第3節 道路及び索道	29
1 . 道 路	29
2 . 索 道	29
第4節 農用地造成	29
1 . 農用地造成	29
2 . 土壌改良	30
第5節 洪水調整施設	31
1 . 貯水池	31
2 . 頭首工及び導水路	31
第6節 干拓施設	31
1 . 堤防	31
2 . 潮止め	31
3 . 付属施設	31
4 . 埋立	32
第7節 農用地整備施設	32
1 . 区画整理	32
2 . 暗渠排水	32
3 . 客土	33
4 . 除礫	33
5 . 農地保全	33

第8節 老朽ため池改修施設	34
1 .貯水池	34
2 .堤体補強施設	34
第 6 章 附帯工事計画	34
第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期	34
第 8 章 環境との調和への配慮	34
第 9 章 換地計画の概要	35
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	35
第2節 換地区の設定	35
1 .換地区の名称、所在、面積	35
2 .換地区を設定する理由	35
第3節 換地計画樹立の基本方針	35
1 .従前の土地の地積の基準	35
2 .用途別予定地積	36
3 .農用地集団化の方針	37
4 .非農用地の換地方法	37
第4節 土地の評価及び清算の方法	37
1 .評価の方法	37
2 .清算の方法	37
第5節 換地計画樹立の年度計画	37
第6節 換地処分の特則	38
第 10 章 事業費の総額及び内訳	39
第 11 章 効 用	40
第 12 章 関連する事業	40
第 13 章 現況・計画図面	40

第 1 章 目 的

本地区は福井県あわら市南部に広がる水田地帯で、地区の農業基盤は昭和45年度から昭和55年度の県営圃場整備事業金津坪江地区で1次整備を終えて現在に至っている。しかし、整備後約50年が経過し、送水管、揚水機場、暗渠排水の経年劣化により、維持管理労力及びコストの増大が問題となっている。

よって、本事業で老朽化した暗渠排水を整備することで、大型農業機械の効率的利用を可能とし、農地利用集積拡大、高収益作物の作付拡大を図り、安定した農業経営を確立させる。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
暗 渠 排 水	あわら市：次郎丸、北疋田、古屋石塚 地係

第 2 節 地 積

令和7年10月現在

(第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
暗渠排水	あわら市	18.5	—	—	—	—	18.5	
計		18.5	—	—	—	—	18.5	

第 3 章 現 況

第 1 節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	三国観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H23年～R2年	5月～9月	10月～4月		
平 均 気 温 (℃)	22.7	8.8	14.6		
降 水 量	平均 (mm)	192	171	180	
	基準年 (mm)	—	—	—	
降水日数	平均 (日)	11	17	14	
	基準年 (日)	—	—	—	
根 雪 期 間	12 月 ～ 3 月	— 日間			
無 霜 期 間	3 月 ～ 12 月	— 日間			
最 多 風 向	SSE (南南東)	最大風速	25.8 m/s		

2. 特殊気象

(第3表-2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
三国観測所																
観 測 期 間	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	数量	年 月 日	発 生 確 率	
H3年～R2年																
最大日雨量 (mm)	174	H16. 10. 20	1/27	169	H23. 5. 29	1/23	163	H8. 6. 25	1/18	147	H18. 7. 17	1/11	140	H11. 9. 21	1/9	
最大時間雨量 (mm)	57	H26. 9. 11	1/24	50	H24. 9. 11	1/24	47	H25. 8. 23	1/17	41	H7. 8. 30	1/7	40	H11. 9. 21	1/6	
最大4時間雨量 (mm)					記 録 な し											
最大連続雨量 (mm)	496	H17. 11. 29～ H17. 11. 31	1/100	419	H18. 7. 15～ H18. 7. 19	1/34	308	H9. 7. 7～ H9. 7. 17	1/7	303	H25. 8. 31～ H25. 9. 8	1/7	302	H8. 11. 27～ H8. 12. 14	1/7	
最大連続干天日数 (mm)	44	H6. 7. 8～ H6. 8. 20	1/37	42	H12. 7. 26～ H12. 9. 5	1/29	37	H18. 7. 30～ H18. 9. 4	1/17	36	H17. 5. 23～ H17. 6. 27	1/15	31	H19. 7. 22～ H19. 8. 21	1/8	

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名 観測期間	年～年	既往最高 潮位	さく望平均 満潮位	上下弦平均 満潮位	平均潮位	上下弦平均 均干潮位	さく望平均 干潮位	既往最低 潮位	備考	
実測値					該当事項なし					

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑 ・ そ の 他								受益地標高 (m)		備考
	傾斜 区分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
										8° ～ 10°	10° ～15°	8° ～15°						
暗渠排水	面積 (ha)	18.5	－	－	－	－	18.5	－	－	－	－	－	－	－	－	6.3	5.1	
	比率 (%)	100.0	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－			

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壌 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備考
	土 壌 断 面								堆積様式	母材	事 業 名			
	色	腐植	レキ層	酸化沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 及びグライ層			暗渠排水	計		
					表土	下 層 土								
					一層	二層	三層							
D-34	Y/G	無	無	雲状有	壤質	壤～粘質	—	有	沖積世	非固結水成岩	18.5		18.5	
計											18.5		18.5	

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ侵食程		備考
		0%	0%～25%	25%～50%	50%以上	0mm	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)					該当事項なし						
	比率 (%)											

2. 土地分類

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成											計 (ha)	備 考	
	一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地				
		※ (ha)	3° ～8° (ha)	8° ～12° (ha)	12° ～15° (ha)	※ (ha)	15° ～20° (ha)	20° ～25° (ha)	25° ～30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)			
					該 当	事 項	な し						※は傾斜 以外の要因による もの	

(第4表-2-2)

級地別 市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
			該 当	事 項	な し	

3. 土地利用の状況

令和7年10月現在

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地	原野	その他	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
暗渠排水	坂井市	18.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—		18.5	
	計	18.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—		18.5	
合 計		18.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—		18.5	

4. 土地所有の状況

令和7年10月現在

(第4表-4)

事業名	所 有 別 区 分	民有地	国有地	県有地	市町村	土地改良区	計	備 考
暗渠排水	面 積 (ha)	18.5	—	—	—	—	18.5	
	受 益 者 数 (人)	23	—	—	—	—	23	
	筆 数 (筆)	74	—	—	—	—	74	
	権 利 関 係	—	—	—	—	—	—	
	備 考 (関係戸数)	—	—	—	—	—	—	
合 計	面 積 (ha)	18.5	—	—	—	—	18.5	
	受 益 者 数 (人)	23	—	—	—	—	23	
	筆 数 (筆)	74	—	—	—	—	74	
	権 利 関 係	—	—	—	—	—	—	
	備 考 (関係戸数)	—	—	—	—	—	—	

第 3 節 水利状況
1. 用水状況
(1) 用水系統

該 当 事 項 な し

(3) 用水に関する被害状況
(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面 積 (ha)	現 況 必要水量 (千m³)	不 足 水 量				平 均 減 産 量		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
				平均(m³/s)	基準年(m³/s)	平均(千m³)	基準年(千m³)	作 物 名	減産量(t)	
				該 当 事 項 な し						
	計									
合 計										

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積(ha)	水温(℃)		水質	被害量(t)	備考
			最高	最低			
			該当事項なし				

(4) 頭首工決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(千円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
					該当事項なし						
合計											

2. 排水状況

(1) 排水系統

該 当 事 項 な し

(2) 排水施設
(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項 目		排 水 面 積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水 能 力 (m³/s)	備考
			500ha以上		100～500ha		100ha未満						
	施 設 名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
	自 然	排 水 路											
		水 門											
	機 械	排 水 機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
	合 計												

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項 目		施設名又は 箇 所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	自 然	排 水 路							
		水 門							
	機 械	排 水 機							
		水 門 及 び 排 水 機							
		排水路及び 排 水 機							
		計							
	合 計								

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況(ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
	乾	湿	乾	湿					乾	湿							
			平均														
			基準年														
			平均	該 当 事 項 な し													
			基準年														
	計																
合 計																	

3. 河川状況
(1) 河川状況

(第5表-7)

項 目 河 川 名	流 路 状 況	勾 配	断 面	計画洪水量	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備 考
		該	当 事 項	な し		

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項 目 区 分	農 用 地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作 物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備 考
過去の最大被害額					
平 均 被 害 額		該	当 事 項	な し	

第 4 節 道路概況

1. 道路概況

該 当 事 項 な し

2. 主 要 道 路 一 覧 表

(第 6 表)

No	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
				該 当 事 項 な し				

第5節 地 域 農 業 の 概 況

1. 産 業 別 就 業 人 口

国勢調査 令和2年度 (第7表-1)

項 目	総 数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気 ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売 小売業 飲食店	金融 保険業	不動産業	サービ ス業	公務	その他	備考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
あわらし	14,963	856	29	5	2	1,088	3,871	58	881	1,867	292	98	5,404	512	—	国勢調査
計	14,963	856	29	5	2	1,088	3,871	58	881	1,867	292	98	5,404	512	—	
比率 (%)	100.0	5.8	0.2	0.0	0.0	7.3	25.9	0.4	5.9	12.5	2.0	0.7	36.1	3.4	—	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

農林業センサス 令和2年度 (第7表-2)

項 目 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											一戸当たり平均農用地面積(ha)						耕地の 分散状況		専兼業別農家数 (戸)			備 考
		例外規定 の適用を 受けるもの	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自給的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一戸 当 地 数	団地 面 積 (ha)	専 業	兼 業		
																						第一種	第二種	
あわら市	508	26	71	120	74	73	45	25	20	15	39	—	4.35	2.37	—	6.72	—	6.72	—	—	134	189	993	
計	508	—	71	120	74	73	45	25	20	15	39	—	4.35	2.37	—	6.72	—	6.72	—	—	134	189	993	
比率 (%)	100.0	—	14.0	23.6	14.6	14.4	8.9	4.9	3.9	3.0	7.7	—	65.0	35.0	—	100.0	—	100.0	—	—	10.2	14.4	75.5	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

農林業センサス 令和2年度 (第7表-3)

項 目	動 力 農 機 具								主 要 家 畜							
	トラクター		田 植 機		コンバイン				乳用牛		肉用牛		採卵鶏		ブロイラー	
	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (百羽)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)
市町村名																
あわらし	1,100	779	619	563	610	505			198	3	x	3	x	1	—	—
計	1,100	779	619	563	610	505			198	3	1,146	3	0	1	—	—
100戸当数量(台、頭)	141		110		121											
利用戸数割合(%)																

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの —:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

4. 主要作物作付け状況

農林水産統計年報 R7現在

(第7表-4)

市 町 村 名			あわら市					計		平 均	作付率	備 考
総耕地面積 (ha)			3,380					3,380		3,380		
総本地面積 (ha)			2,540					2,540		2,540		
区 分	作物名		作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	(%)	
田	水 稲		1,670	516					1,670	516	65.7	
	表 作											
	裏 作											
	小 計		1,670						1,670			
畑	大 麦		615	351					615	351	24.2	
	春 夏 作											
	そ ば		385	52					385	52	15.2	
	秋 冬 作		353	119					353	119	13.9	
	大 豆											
	小 計		1,353						1,353			
樹園地												
計			3,023						3,023			
市 町 村 別 延べ作付率 (%)			119.0						119			

5. 農業の動向

農林水産統計年報 R7現在

(第7表-5)

区 分	項 目	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
			B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農 機 具 名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総 農 家 数	79	57	耕 地	100	98	水 稲	96	86	乳 牛	96	X	田 植 機	77	—	農 業 振 興 地 域 旧 芦 原 町 指定 S47. 3. 31 計画 H21. 6. 1	A:令和2年 B:平成27年 C:平成22年	
	専 業 農 家	94	—	田	100	98	麦 類	103	94	肉 用 牛	—	—	動 力 耕 転 機	—	—			
	第 一 種 兼 業 農 家 集	86	—	畑	101	98	豆 類	109	112	豚	—	—	トラクター	84	—			
	第 二 種 兼 業 農 家 集	77	68	樹 園 地	—	—				採 卵 鶏	—	—	バインダ	—	—			
	農 業 従 事 者 数	68	—	草 地	—	—							コンハ [＊] イン	88	—			
変化の理由	担い手農家への農業経営のシフト			農地転用に伴う改廃			農地の汎用化に伴う転作面積の拡大			農業離れ			農業離れに伴う農機具所有台数の減					

※表内の記号の意味は次のとおりとする (0:単位に満たないもの —:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

第6節 地域環境の概況

本地区は、周囲に河川が流れており、生態系等の自然環境に恵まれた潤いのある農村景観が広がる地域である。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本事業により、暗渠排水を整備し、大型農業機械の効率的利用を可能とし、農地集積拡大、高収益作物の作付拡大を図ること
で、安定した農業経営を確立させる。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	暗 渠 排 水 事 業												計 (ha)	備考
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)		
本暗渠	18.5	—	—	—	—	18.5							18.5	
計	18.5	—	—	—	—	18.5							18.5	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業を契機に、農地利用集積を促進していくことで、効率的な営農を行うとともに、基盤整備を契機に高収益作物の
収量、品質アップを図ることで、安定した農業経営を確立する。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	備考
暗渠 排水	現 況	18.5	—	—	—	—	—	18.5	—	—	—	18.5	
	計 画	18.5	—	—	—	—	—	18.5	—	—	—	18.5	
計	現 況	18.5	—	—	—	—	—	18.5	—	—	—	18.5	
	計 画	18.5	—	—	—	—	—	18.5	—	—	—	18.5	

3. 作付方式

(第 9 表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												3年目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
暗渠	現況	水稻＋畑作物	輪換田				(水稻)																																	
			樹園地																																					
排水	計画	水稻＋畑作物	輪換田				(水稻)																																	
			樹園地																																					

4. 生産計画

(第 9 表-3)

4. 生産計画																	
事業名	土地利用区分		項目 作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収穫量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減 の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当 収 量 増 加	
暗渠排水	水田	表作	水 稲	9.6	10.4	0.8	10.1	10.9	530	530	—	50.9	55.1	4.2	4.2	—	
	畑利用	表作	水 稲 (飼料)	2.7	3.0	0.3	2.8	3.2	526	526	—	14.2	15.8	1.6	1.6	—	
			水 稲 (加工)	0.9	—	△ 0.9	0.9	0.0	526	526	—	4.7	—	△ 4.7	△ 4.7	—	
			大 麦	2.5	4.2	1.7	2.6	4.4	322	322	—	8.1	13.5	5.4	5.5	△ 0.1	
		裏作	そ ば	2.4	3.4	1.0	2.5	3.6	45	45	—	1.1	1.5	0.4	0.5	△ 0.1	
			たまねぎ	0.1	0.8	0.7	0.1	0.8	4,695	4,695	—	4.7	37.6	32.9	32.9	—	
	合 計				18.2	21.8	3.6	19.0	22.9								

※表内の作付面積は本地率を考慮した値である。

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事 業 名	項目 土地利用区分	作 物 名	作付面積 (ha)	単 位 面 積 当 た り 労 働 投 下 量 （ hr/10a ）				備 考
				区 分	現 況	計 画	増 減	
暗 渠 排 水	田	水 稻	10. 4	人 力	19. 8	17. 3	△ 2. 45	
				機 械	5. 1	3. 6	△ 1. 48	
		水 稻 （ 飼 料 ）	3. 0	人 力	19. 8	17. 3	△ 2. 45	
				機 械	5. 1	3. 6	△ 1. 48	
		水 稻 （ 加 工 ）	－	人 力	19. 8	17. 3	△ 2. 45	
				機 械	5. 1	3. 6	△ 1. 48	
	畑利用	大 麦	4. 2	人 力	6. 9	5. 3	△ 1. 63	
				機 械	3. 3	2. 4	△ 0. 85	
		そ ば	3. 4	人 力	5. 7	4. 4	△ 1. 26	
				機 械	2. 7	2. 1	△ 0. 68	
		た ま ね ぎ	0. 8	人 力	74. 3	73. 4	△ 0. 94	
				機 械	4. 8	4. 0	△ 0. 77	
合 計			21. 8					

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

土地利用区分 級地名		農用地造成 (ha)					干 拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)				該 当 事 項 な し							
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(桑園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反 入 植			該	当	事	項	な	し		

第3節 用水計画

1. 計画基準年

該 当 事 項 な し

2. 計画かんがい方式

該 当 事 項 な し

3. 計画用水系統

該 当 事 項 な し

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

[illegible]

(第 10 表一 1-1)

[illegible]

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量 (m³/日)	最大給水量 (m³/日)			
				計					
		該	当	事	項	な	し		

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分 (事業名)		消費 水量	有効 雨量	純用 水量	粗用 水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備考
						水源名	取水地点 利用 可能量	圃場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
		a (千㎡)	b (千㎡)	c=a-b (千㎡)	d=c/(1-a) (千㎡)		e (千㎡)	f (千㎡)	g=c-f (千㎡)	h=d-e (千㎡)		(千㎡)		損失率 α
該 当 事 項 な し														
計														

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備 考
	直接	間接	事 業 名							
			計							
			該 当 事 項			な	し			

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河 川 名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取 水 量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名			最大	平均		
			計						
			該 当 事 項 な し						
計									

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m³/s)		揚 水 機				備 考
		事 業 名					実揚程 (m)	揚水量 (m³/s)	台 数 (台)	全揚水量 (m³/s)	
				計	最 大	平 均					
			該 当 事 項 な し								

(エ) 用水路

(第10表-6)

項 目 名 称	かんがい面積 (ha)			最 大 通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名						
			計				
				該 当 事 項 な し			

(オ) その他の水源施設

該 当 事 項 な し

(3) 水質水温

(第10表-7)

時 間 別	か ん が い 面 積	水 温		水 質	被 害 量	備 考
		最 高	最 低			
		該 当	事 項	な し		

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

該 当 事 項 な し

2. 計画排水方式

該 当 事 項 な し

3. 計画排水系統

該 当 事 項 な し

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第12表-1)

項 目 路線名	幅 (有効) × (m)	延 長 (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
	該 当 事 項 な し				

(2) 索 道

(第12表-2)

項 目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考
	該 当 事 項 な し			

2. 路線配置図

該 当 事 項 な し

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項 目 土地利用区分	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標 準 区 画 の 形 状	備 考
	該	当	事	項	な し

(2) 末端道水路配置図

該 当 事 項 な し

2. 土壌改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土 壌 統(区)名	P H		置換酸度 (Y1)	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	h a 当たり所要量			備 考
			H ₂ O	KCl			石灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	
			該	当	事	項	な	し		

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該 当 事 項 な し

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達 時間 (hr)	計画 洪水量 (m ³ /s)	安全 洪水量 (m ³ /s)	必要 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後 流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後 の最大 流量の差 (m ³ /s)	最大 調節量 (m ³ /s)
			該	当	事	項	な	し		

3. 貯 水 池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量(千m ³)			計画調節 流量(m ³ /s)	可能調節 流量(m ³ /s)	備 考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			
			該	当	事	項	な	し	

4.洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該 当 事 項 な し

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該 当 事 項 な し

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該 当 事 項 な し

5.管理計画

(1) 管理機構

該 当 事 項 な し

(2) ダム管理操作上の各種基準

該 当 事 項 な し

(3) 洪水調節要領

該 当 事 項 な し

第8節 干拓計画

(第15表)

項 目 名 称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (hPa)	備 考
		該 当	事 項 な し			

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長 辺×短 辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
	該 当 事 項 な し				
計 . . .					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m³)	備 考
	該 当 事 項 な し			

(3) 末端道水路配置図

該 当 事 項 な し

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (ℓ/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備 考
	事業名	計							
本暗渠	18.5		18.5	D-34	—	6.1	GL-0.5	自然排水	
計	18.5		18.5						

(2) 心土破砕

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	事業名	計				
				該 当 事 項	な し	
計						

3. 客 土

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m³)	土壌の性質		備 考
	事業名	計			現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地	採土地 (客土材料)	
				該 当 事 項								
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
	該 当 事 項	な し		

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m³/s/ha)	全排水量 (m³/s)	
		該 当 事 項	な し			

(3) 侵食（崩壊）防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考
	該 当 事 項	な し		

第 1 0 節 老朽ため池改修計画

1.洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該 当 事 項 な し

(2) 計画洪水量

該 当 事 項 な し

2.堤体補強計画

該 当 事 項 な し

3.取水施設改修計画

該 当 事 項 な し

1. 貯水池

名称				位置						備 考
型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	提体積 (千m ³)	基礎地盤地質	貯水量 (千m ³)			
	直接	間接					総貯水量	有効貯水量		
				該 当 事 項 な し						
	型 式	洪水量 (m ³ /s)	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)		

名 称				位 置				備考
型 式	堰 高 (m)	堰 長 (m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m³/s)	付帯施設	
		固 定 部	可 動 部	計				
			該 当	事 項	な し			

[illegible][illegible]

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m³/s)	備考
		該 当 事 項 な し					
計							

2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m³/s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kW)	台数 (台)	
			該 当 事 項 な し								
計											

3. 排水路

(第18表-3)

項 目 水路名	受 益 面 積 (ha)			排水量 (m³/s)	延 長 (km)			構 造	勾配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
			計								

4. その他排水施設

該 当 事 項 な し

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項 目 区 分	路 線 名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲 線半径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
		該	当	事	項	な	し			
計										

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考
		該	当 事	項 な し	

2. 索 道

(第19表-3)

(第 1 表 8)						
項 目 名 称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				形式	動 力	
		該	当	事 項	な し	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

(第20表-1)

表 2-6-1						
項 目 区 分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該 当 事 項		な し	
計						

(2) 除 礫

(第20表-2)

表 2-2-2					
項 目 区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当	事 項	な し	
計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

項 目		面 積	工 法	備 考
区 分	造成工法	(ha)		
地 目				
		該 当 事 項 な し		
計				

(4) 地目変換

(第20表-4)

項 目		面 積	工 法	備 考
区 分		(ha)		
		該 当 事 項 な し		
計				

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

項 目		数 量	規 模	構 造	備 考
区 分					
		該 当 事 項 な し			

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

項 目		数 量	規 模	構 造	備 考
区 分					
		該 当 事 項 な し			

2. 土壤改良

(第20表-7)

項 目	面 積	石 灰 量	りん酸質資材量	有機質資材量	備 考
区 分	(ha)	(t)	(t)	(t)	
	該 当 事 項 な し				
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

該 当 事 項 な し

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名称			位置	長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	備 考
			堰	固定部	可動部	計			
型式	集水面積 (km ²)	堰 高 (m)							
		該	当	事	項	な	し		

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他	計			
		該	当	事	項	な	し

第6節 干拓施設

1. 堤 防

(第22表-1)

項 目 名 称	型 式	延長 (m)	構 造				原地盤標高 (m)		備 考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	
			該	当	事	項	な	し	

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考
		該	当	事	項	な	し

3. 付属施設

該 当 事 項 な し

4. 埋 立

(第22表-3)

項目 区分	面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m ³)	施 工 方 法	備 考
		該 当	事 項 な し		

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量(m ³)	面 積(ha)	土 量(m ³)	
		該 当	事 項 な し			

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当	事 項 な し	

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

項目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当	事 項 な し	

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠						集 水 渠 出 口 以下の排水施設			備 考
	事 業 名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (mm)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (箇所)	
	暗渠排水		計														
本暗渠	18.5		18.5	1/500	ポリ管	50～75	52	1/500	ポリ管	50～75	0.6～0.8	7,500	1,229	水閘	紗式・水平	259	
計	18.5		18.5														

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

区分	項目 対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項	な し		
計					

3. 客 土

(第23表-5)

区分	項目	面 積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
		事 業 名	計						
			該 当 事 項	な し					
計									

4. 除 礫

(第23表-6)

区分	項目 対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項	な し		
計					

5. 農地保全

(1) 防風林

(第23表-7)

区分	項目 幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考
		該 当 事 項	な し			
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

区分	項目 延 長 (m)	流 量 (m ³ /s)	構 造	備 考
		該 当 事 項	な し	
計				

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

名称	項目 構 造	数 量	備 考
	該 当 事 項	な し	
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名 称					位 置			
堤 体	型 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m ³)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m ³)	備 考
			該	当	事	項	な し	
洪水 吐	型 式	排 水 量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 設 備	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	備 考

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該 当 事 項 な し

(2) 漏水防止工

該 当 事 項 な し

第6章 附帯工事計画

該 当 事 項 な し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

換 地 区	着 手	完 了 予 定	備 考
全 区	令和 8 年度	令和 13 年度	

第8章 環境との調和への配慮

施工の際は、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該 当 事 項 な し

第2節 換地区の設定

1 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
	該 当 事 項 な し	

2 換地区を設定する理由

該 当 事 項 な し

第3節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地 積 の 基 準
	該 当 事 項 な し

2 用途別予定地積

用途 (取得 予定者)		非 農 用 地 区 域 外 に 換 地 す る 土 地													
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に 含める土地（令第1条 の9（ ）書き）			計	本事業によって 生ずる土地改良 施 設 用 地			創設農用地	合計	
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計			
換地区名	前・後	従前の土地													
		換地													
	従前の土地	換地													
	従前の土地	換地													
	従前の土地	換地													
合計	従前の土地	換地													

(単位：ha) (第25表-3)

非 農 用 地 区 域 に 換 地 す る 土 地										機 能 交 換 に 係 る 土 地				一 般 国 公 有 地	総 合 計
特 定 用 途 用 地			異 種 目 換 地	創 設 非 農 用 地					合 計	国	県	市 町 村 他	合 計		
宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 合 理 化	施 設 用 地 ・ 生 活 上 ・ 経 営 上	公 用 ・ 公 共 用	施 設 用 地	宅 地 等							

3.農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取扱い
		該 当 事 項 な し		

4.非農用地の換地方法

(第25表-5)

換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
			該 当 事 項 な し			

第4節 土地の評価及び清算の方法

1.評 価 の 方 法

該 当 事 項 な し

2.清 算 の 方 法

該 当 事 項 な し

第5節 換地計画樹立の年度計画

第25表-6)

区 分 換地区名	一時利用地の 指 定 予 定 年 度	換 地 計 画 の 決 定 予 定 年 度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考
		該 当 事 項 な し		

第6節 換地処分の特則

該 当 事 項 な し

区 分 \ 事 業 名		暗 渠 排 水 (単位：千円)	備 考
暗 渠 排 水 工		77,000	令和 7 年度単価
	小 計	77,000	
	測 量 試 験 費	2,000	
	小 計	2,000	
	計	79,000	
	総 事 業 費	79,000	
関連事業 (参考)			

事業名	区 分	年総効果(便益)額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
暗 渠 排 水	食料の安定供給の確保 に 関 す る 効 果	20,340	21,075	
	作 物 生 産 効 果	1,163	1,898	
	営農経費節減効果	19,177	19,177	
	農 村 の 持 続 的 発 展 に 関 す る 効 果	-	-	
	農 村 の 振 興 に 関 す る 効 果	-	-	
	多 面 的 機 能 の 発 揮 に 関 す る 効 果	-	-	
	そ の 他 効 果	357	-	
	国産農産物安定供給効果	357	-	
計		20,697	21,075	令和 7 年度単価

(参考)

総 費 用 (現在価値化) : 82,034 千円

総便益額(現在価値化) : 366,895 千円

総 費 用 総 便 益 比 : 4.47 ≥ 1.00

総 所 得 償 還 率 : 11.2 % ≤ 20 %

増 加 所 得 償 還 率 : 2.6 % ≤ 40 %

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (ha)	備 考
	該 当 事 項 な し			

別途添付

1. 計 画 平 面 図

令和8年度 新規採択希望 県営土地改良事業 次郎丸地区(暗渠排水(経営体育成基盤整備(土地総)事業)) 計画平面図

福井県内位置図



Scale = 1:2500

0m 25 50 100

凡 例		
色 別	名 称	事業量
■	受益(田)	18.5 ha
■	排水河川	

標準断面図

